

区政策提案予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
上京検定・まちのコンシェルジュ創生事業～上京の達人への道～	<p>上京区における歴史文化、伝統芸能、観光等に関する検定試験の実施により、幅広い年齢層に上京区に対するより深い知識と教養を身に付ける機会を創出する。</p> <p><成果目標></p> <p>検定試験の実施により、深い教養等を身に付けた、上京の魅力発信の担い手となる「まちのコンシェルジュ」の創生を目指す。</p>	1,150	<input checked="" type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討
「上京へようこそ」(仮称)の発信	<p>上京区のホームページにこれまで掲載していない内容－区内の伝統産業・伝統工芸に関する施設情報や商店街のイベント情報などを新たに掲載することで、区民や観光に訪れる方を地域に引き込む内容のコンテンツを構築する。</p> <p><成果目標></p> <p>ホームページの新たなコンテンツの充実を図ることで、上京区の魅力を高めるとともに、「訪れたくなるまち上京」の実現を目指す。</p>	500	<input type="checkbox"/> 公民等役割分担の検討 <input type="checkbox"/> 既存施策との整合性検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容・実施手法の検討 <input type="checkbox"/> 後年度財政負担の検討

※この一覧表は、事業実施の意義は認められるものの、「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため、財政非常事態の下では、限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず、予算措置を見送った事業を掲載したものです。

区政策提案予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
「東山こどもまちづくり博士」事業	<p>仮想のまちづくり体験，「東山こどもまちづくり博士」事業を行う。こどもたちは，仮想のまちのルールを決め，自分たちのまちをどう運営していくのかなど，まちの構想段階から考える。仮想のまちでの活動で，区役所などの公共機関の役割や消防団等のコミュニティ活動等を体験し，自治についての理解を深める。</p> <p>また，飲食店やサービス業などの就業体験を通じて，働く楽しさ，社会のルールや仕組みについて学び，こどもたちの親世代についても，スタッフとして参加し，まちづくりを楽しみ，コミュニティへの関心を高めるきっかけとする。</p> <p>仮想のまちは，地域のまちづくりの活動拠点である，東山区総合庁舎を会場とすることで，事業運営費の経費節減を図るとともに，総合庁舎にある青少年活動センターなどとタイアップし，‘オール東山’体制で実施する。</p> <p><成果目標></p> <p>仮想のまちでのまちづくり体験を通じて，こどもたちを未来のまちづくりの担い手として育むきっかけとするとともに，親世代のまちづくりやコミュニティへの関心を高め，幅広い世代がまちづくりに関わる持続的な地域自治の醸成を目指す。また，区内の小中学校について統合化への機運が高まりつつあることを踏まえ，統合校の開校に先駆けてこどもたちのつながりを強めるとともに，地域活動の核となる学区単位のまちづくり活動の一層の活性化を図る。</p>	1,500	<p>■公民等役割分担の検討</p> <p>□既存施策との整合性検討</p> <p>□事業内容・実施手法の検討</p> <p>□後年度財政負担の検討</p>

※この一覧表は，事業実施の意義は認められるものの，「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため，財政非常事態の下では，限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず，予算措置を見送った事業を掲載したものです。

区政策提案予算要求の内容			検討が必要な事項
事業名	事業概要	要求額	
地域資源（大枝音頭）の普及事業	<p>西京区大枝地域に伝わる「大枝音頭」を，地域内に所在する京都市立芸術大学が，編曲，音源作成を行うことで芸術大学の地域連携事業の一環として，地域文化の継承と発展に貢献するものとするとともに，地域コミュニティの活性化や「地域力」向上に寄与する。さらに，「大枝音頭」を旧大枝村のエリアである桂坂学区や洛西ニュータウンへも普及させることを通して，地域への愛着心や子ども達のふるさとづくりへも貢献するものとする。</p> <p>「大枝音頭」は，大枝村が京都市に編入した直後の昭和27年に誕生した。住民を元気づけ，地域の結束を図るまちおこしの一つとして，地域の住民によって作詞されたもので，往時は盛んに歌い踊られていたが，近年住民同士の交流が徐々に少なくなり，同時に「大枝音頭」も地域の住民から忘れられていく状況にあった。このような中で，平成13年に古くから大枝学区に住んでいる住民と新たに転入してきた住民との交流の機会として「大枝夏まつり」をスタートさせ，大枝小学校においても地域の住民の方から指導を受ける練習会を開催するなど「大枝音頭」を住民のコミュニケーションを図るツールとしての活用が始まっている。そこで，この「大枝音頭」に芸術大学の芸術創造力を付与して，芸術性の高いものとして編曲することで，大枝音頭を広く普及させ地域コミュニティの向上を図るとともに，地域全体の芸術文化環境の向上に寄与するものとする。</p> <p>また，芸術大学においてこの事業をきっかけとして，地域社会との交流，連携を図るものとする。</p> <p><成果目標> 芸術性の高い「大枝音頭」の普及を通じて大枝学区及び旧大枝村エリアにおける地域文化の発展に寄与するとともに，地域コミュニティの向上や地域への愛着心を高める。</p>	600	<p>■公民等役割分担の検討</p> <p>□既存施策との整合性検討</p> <p>□事業内容・実施手法の検討</p> <p>□後年度財政負担の検討</p>

※この一覧表は，事業実施の意義は認められるものの，「検討が必要な事項」欄に記載した課題があるため，財政非常事態の下では，限られた財源を他の事業に振り向けざるを得ず，予算措置を見送った事業を掲載したものです。